●廣告主へ御用の節は『みづゑ』にて見たる旨御附記を乞ふ●

新刊

（四月二十日迄に寄贈を受けし分）

●音樂新報	三ノ三	音樂新報社
逐號發達の跡見えて嬉し		
●高等女學講義	二ノ七、八	高等女學會
●先世	一ノ六	先世社
●歌舞伎	七十二	歌舞伎發行所
記事廣く且淵刊なれば一般婦人の好伴侶として缺くべからざるもの		
●日本の家庭	三ノ二	同文館
愛らしき小兒の寫眞數多あり兒を有する家庭の好讀物たるべし		
●手紙雜誌	三ノ三、四	有樂社
●帝國文學	一二ノ四	帝國文學會
●藝苑	四、	左久良書房
●學燈	十ノ三	丸善株式會社
●能樂	四ノ九	能樂館
●中央公論	二十一ノ四	反省社
陽春號と稱し幾多の附錄を添えたり		
●新公論	二十一ノ四	新公論社
●家庭の友	四ノ一	內外出版協會
●文庫	（松風號）	同
●ハガキ文學	四ノ五	日本葉書會
●英學生	三ノ九、十	東京社
●寫眞月報	十一ノ三	小西寫眞店
●寫眞界	六	桑田商會
●時好	四ノ三	三越吳服店
●甲矢	二ノ七	甲矢發行所
●光風	二ノ二	光風發行所
例によつて幾多の見るべき挿繪あり		
●新古文林	二ノ五	近事畫報社
●園藝の友	二ノ五	園藝研究會
●日本美術	八十四	日本美術社
●白百合	三ノ五	東京純文社
●俳星	七ノ一	俳星會
●卯杖（俳人其角）		秋聲會
●校友會月報	毎號	東京美術學校
●明治の家庭	二ノ四	明治の家庭社
●美術新報	四ノ二十三、二十四	畫報社
●海軍	一ノ一	海光社
海軍に關する寫眞畫及記事を滿載せり		
●野花	一	上毛新詩社
日本紙刷の美はしき小雜誌なり		
●白鳩	二ノ三	東京韻文社
●家庭樂	一	高等女學會
●心の華	四月號	竹柏會
●衞生新報	三十八	衞生新報社
●しぶき	一ノ九	シブキ會
●歷史地理	四月號	歷史地理研究會
●青年文壇	一	芳文社

會告

■學校又は同志の間に、寫生會、エハガキ會等の設けあるものは、其景況をなるべく詳しく通報せられたし

■前項團體及び個人の作品の現物、若くは寫眞を寄贈せられば、優秀なるものに限り、寫眞版に付して、本誌に登載すべし但作品はがき大に限る

■左の事項につき廣く投書を求む

□水彩畫に志せし最初の動機

□始めて戸外寫生を試みし時の感

□寫生中に起りし興味ある出來事

□畫を學びし爲めに得たる顯著なる利益

□其他水彩畫に關する意見報導小品文等

■以上〆切の期を定めず、半紙十行廿字詰にて、簡單に、字體明瞭に（假名は平假名に限る）に認められたし

■繪畫及寄稿にして、本誌に登載せしものゝうち優秀なる作に對しては主任大下藤次郎の肉筆繪葉書一葉を贈るべし

■投稿の返戻を望まゝ方は、相當の郵券を添へられたし

■水彩畫に關する質問にして、一般讀者に有益と認むるものは、答を紙上に掲載すべし、但初めより返信料を添へられしものは直ちに答書を送るべし

■眞野紀太郎氏は、遠近法に關する質問に答えらるべし但複雜なる圖說を要するものは此限りにあらず

（後付の一）